

## 動物感染症学

VT コース専門科目 1年 前期・後期 52時間 3単位 講義

講師 藤田圭佑

実務経験のある授業科目	有
実務経験の内容	動物病院における動物看護・受付・診察補助業務
学科・クラス指定等	ベテリナリーテクニシャンコース1年
学習目標	微生物・寄生虫の分類や生物学的特性、伝播様式、発病の機序を学び感染症対策の基礎を修得する。
学 び の キーワード	細菌、真菌、ウイルス、原虫、吸虫、条虫、線虫、節足動物、自然免疫、獲得免疫、ワクチン、アレルギー、消毒、滅菌、衛生管理、抗体
準備学習及び復習の内容・履修条件	事前に教科書を読んでおくこと。各授業後のノートの内容を復習すること
授業方法	全ての講義はホワイトボードを利用して板書される。必要に応じて資料を配付するが、教科書に基づいて行う。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。必要に応じて、段階的な理解を深めるために中間試験を実施する場合もある。
成績評価基準	試験において、学びのキーワードを理解していること。講義への出席30%、期末試験70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。
備 考 (テキスト)	動物看護の教科書3巻 (緑書房)
授業回数	
1 回	感染経路 (伝播様式について) 宿主について
2 回	細菌 (性状・構造・分類)
3 回	真菌 (性状・構造・分類)
4 回	ウイルス (性状・構造・分類)
5 回	原虫 (性状・構造・分類)
6 回	イヌやネコの原虫感染症について
7 回	内部寄生虫 (条虫、吸虫)
8 回	外部寄生虫 昆虫類
9 回	感染症の予防について (法律、衛生教育)
10 回	生ワクチンと不活化ワクチン
11 回	ワクチンの副作用 コアワクチン・ノンコアワクチン
12 回	特異的防御機構
13 回	非特異的防御機構
14 回	液性免疫と抗体
15 回	生態防御関連臓器 (リンパ節・胸腺・脾臓)

16回	アレルギー分類
17回	滅菌（滅菌法・特徴） 消毒液
18回	評価試験